

# 中部の工作機械メーカー

## さらなる加工の複合化

### インテリジェント機能も充実



社長 山崎智久氏

「超円高という環境下で、2012年の工作機械受注額をどう見通しますか。」

「11年よりやや低い1兆2000億円程度と読んでいます。国内の工作機械受注額は11年に多くの機械受注・生産し、受注額を達成したが、利益は2の次だった。このまま利益なき繁忙を続けられない。結果として11年並みという数字にはいかないと思う。」

「地域別の足元の受注環境は。」

「中国は年央には金融政策が緩和されて、設備投資が上向くのではないかと。欧州では複数国で金融不安があるものの、航空機、自動車業界からは一定の需要があり、国内にみればドイツなどが堅調に推移している。米国は雇用や消費が改善され、工作機械は自動車やエネルギー関連で好調が続くだろう。日本はエコカー向けの補助金や減税などで国内の年間自動車販売500万台に期待がかかるし、新たな成長産業として航空機などに道が開ける。ただ好調な新興国市場向けは、ユー

「為替リスクの回避や納期短縮、地域ニーズに対応した現地開発・生産という観点で、生産体制を見直したい。例えば、米国で開発した中型旋盤『グイックターン』や『ス400/450シリーズ』は日本で生産して輸出する。これを米国生産に一本化し、日本市場には輸入することを検討する。顧客と当社の双方のメリットを考慮して、複数拠点での同じ種類の重複生産を改めるなどの対応をとってきたい。」

「日本の業界ではグローバル展開が最も進んでいます。米国、英国、中国、シンガポールで低価格の生産機種と量を増やすため、工場を拡張したり、機械を更新したりする。中国・大連市は同

国では二目的の工場が1月に完成、13年以降に生産を始める。独、オーストリア、ポランドなどには営業・技術サービス拠点のテクノロジセンター(TC)を開発、加工ノウハウやトータルソリューションを提供し、各地でのシェア向上を図りたい。」

「今後の開発テーマは。」

「さらなる加工の複合化や、人間の五感に代わるインテリジェント機能の搭載だ。工作機械はこれまで人が使う道具だったが、将来は人が代わるロボットに進化する。一方で、環境に配慮した省エネルギーに向けて取り組んだり、人工手による組立作業を代替するべく、ロボットに磨きをかけていくことも重要。いずれにしても、日本ではできない開発・生産に磨きをかけたい。顧客にさまざまな技術を提供するためにも、当社で工場を自動化、無人化、複合化を推進し、日本の収益力向上につなげたい。」

## 為替変動に強い体制へ 積極投資で日米新工場を立ち上げ



社長 森 雅彦氏

「2012年の工作機械業界の見通しをどう見えていますか。」

「欧州の財政危機や長期化する円高の影響などを踏まえ、日本工作機械工業会の12年の受注総額は前年比約15%減の1兆1000億円くらいと見込む。大手の工作機械メーカー各社の受注は数量で変わらないかも知れないが、円高にふれた為替の変動分が金額で減ってしまう。約7割を占める外需も金額ベースでは横ばいと見る。地域別の受注は日本が横ばいでアジアと米国は伸びるが、欧州で相殺されるイメージだ。欧州は機械を導入する際のファイナンスがつかない状況もあって、買い控えが懸念される。」

「不透明な環境下ですら、積極的な設備投資を行っていますか。」

「主力拠点の伊賀事業所(三重県伊賀市)で新工場が4月に、北米でも新工場(カリフォルニア州テヘリス市)が7月に稼働する。それぞれ50億円を投じた。伊賀の新工場は、工作機械の部品加工と組み立ての各工場がほぼ同時に立ち上がり、耐震性に強く、空調もき

め細かく調整し、高精度の部品加工や工作機械の組み立てができる。要する工場になる。ここ数年はトヨタ生産方式を学んでおり、工作機械ユニットで組み立てラインを導入する。生産性で従来比50%の向上を目指す。」

「また北米工場は構型マシンセンター(MC)と5軸制御MCを従来のセル生産ではなく、流れ方式でライン生産する。日米の新工場は増産の位置づけでなく、円高環境下でコスト競争力を高めることや、工作機械の高精度化に対応するのが狙いだ。」

「今年の製品戦略は。」

「12年は当社で6機種、資本・業務提携する独ギルテマイスターも6機種と、両社で計12機種の新しい企業体となった。全世界で販売・サービス拠点の統合を進め、ロシアや南米などを除き各地で協業体制を整いつつある。両社で製品のOEM供給や共同開発も進めている。4月からは現場交流プログラムを始め、社員ベースでも関係強化を図っていく。ギルテマとの協業を推進するため、どちらかが買収を行うのではと聞かれるが、それは20世紀型M&A(合併・買収)の発想だ。協業は、グレッシーに行うが、支配するという概念は全くない。」

「13年度を最終年度とする中期経営計画も9年目に入ります。」

「中期計画の期間中に大きな課題である、為替変動に強い体制づくりを目指す。仮に1が70円1上げでは90円で固定されてしまっても、収支トントンでいける体制を構築していきたい。北米工場の稼働率や海外生産の強化もそのための、部材調達ではユーロ・ドル購買も拡充する。」

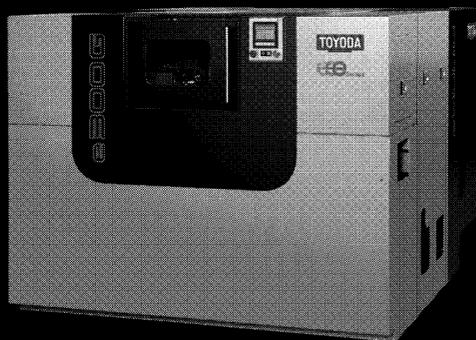
JTEKT

株式会社ジェイテクト JTEKT CORPORATION

JTEKT Koyo TOYODA



「この時代に最適な製品」をテーマに開発した、高い生産性とコストパフォーマンスに優れた、シンプル・スリム・コンパクトを実現したeシリーズを開発いたしました。その中で小物量産加工に最適な研削盤として『e300G』をお届けします。高い生産性・高精度・かんたん操作で、ものづくりに貢献します。



TOYODA CNC円筒研削盤 e300G

e300G P/A 機械仕様		項目	単位	CBNといし仕様	普通といし仕様
センタ間距離	mm			280	320
テーブル上振り	mm			φ200	φ200
研削直径	mm			0~φ80	0~φ80
センタ間負荷質量	kg			20	20
といし径(外径×幅×内径)	mm			φ300×30×φ100	φ355×50×φ127
といし周速度	m/s			45	45

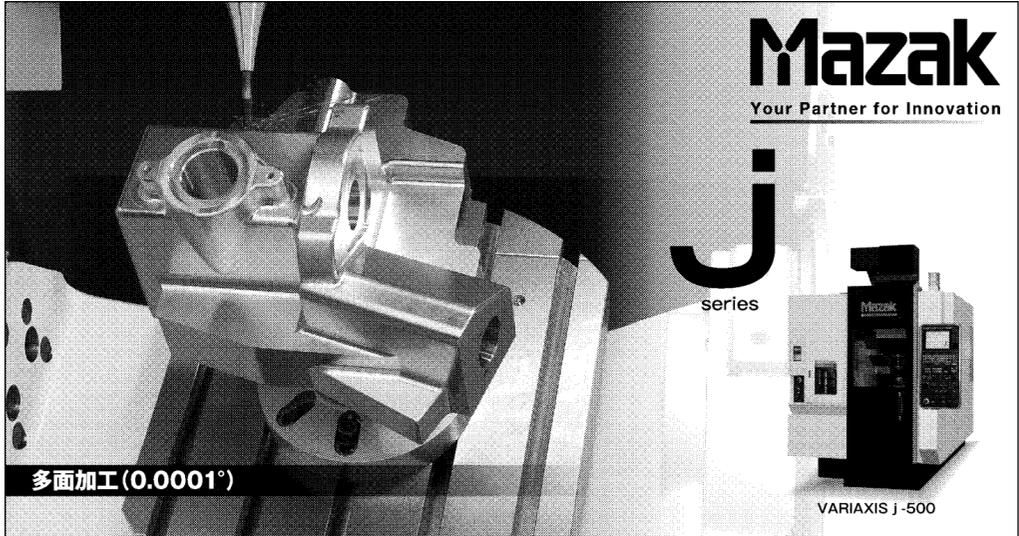
TOYODAは、株式会社ジェイテクトの登録商標です。

◆資料請求はこちら 工作機械・メカトロ事業本部 〒448-8652 愛知県刈谷市朝日町1丁目1番地 TEL.0566-25-5430 FAX.0566-25-5472

www.jtekt.co.jp

Mazak

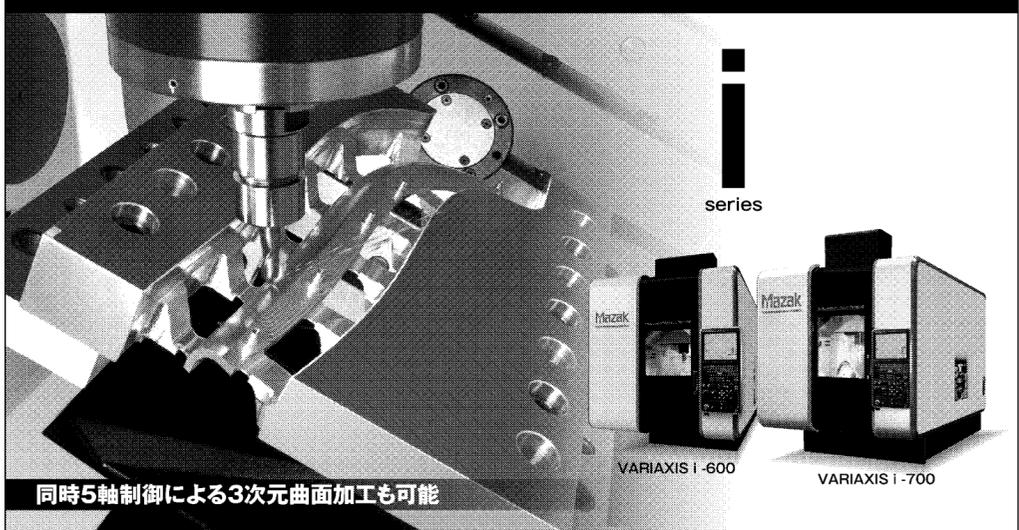
Your Partner for Innovation



多面加工(0.0001°)

あらゆる多面・5軸加工のニーズにお応えします。

VARIAXIS J, i シリーズ完成



同時5軸制御による3次元曲面加工も可能

ヤマザキマザック株式会社 愛知県丹羽郡大口町竹田1-131 0587-95-1131 (代表) www.mazak.com